

令和8年度 第1回

国民健康保険事業の運営に関する協議会議案

日 時 令和8年9月4日（金） 16時00分～

場 所 中標津町役場 1 階 101 号会議室



会 議 次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 町長あいさつ

4. 議事録署名委員の選出

5. 議 事

議案第1号 令和7年度 国民健康保険事業特別会計決算について

議案第2号 保健事業について

6. そ の 他

7. 閉 会

議案第 1 号 令和 7 年度 国民健康保険事業特別会計決算について

空 白

陳惠猷先生：「空 白」與「空白」的區別與聯繫

1.一般状況

中標津町の国民健康保険加入世帯は令和7年度末現在で 2,789世帯、対前年度比 1.7%減少となっており、町の世帯の約 25.01%が加入していることとなります。町全体の人口は 21,669人で対前年度比で約 1.3%減少、国保被保険者数についても年度平均で 4,376人と 5.2%減少となっています。

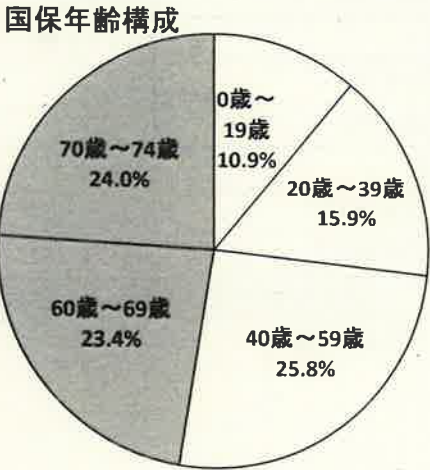
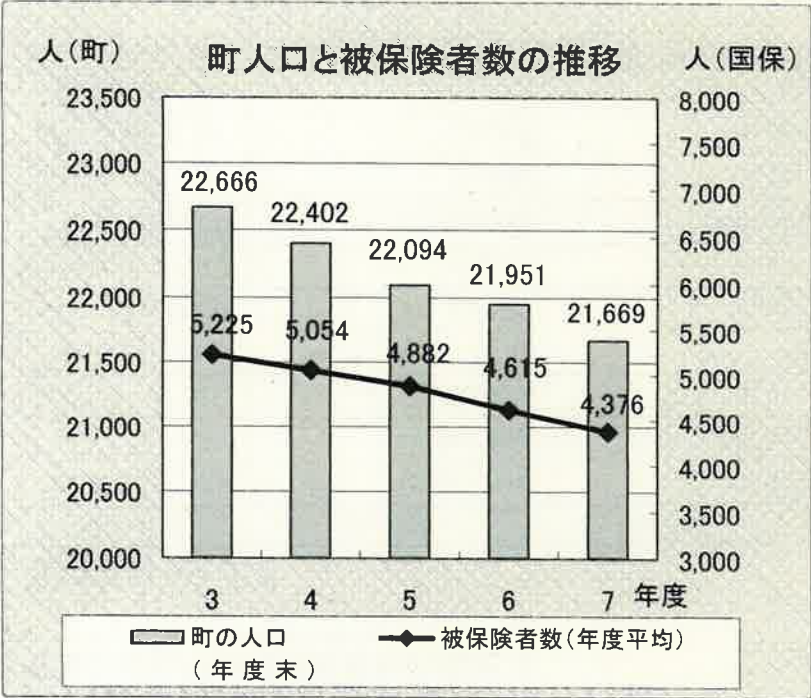
被保険者の年齢構成は、60歳以上が加入者全体の 47.4%となっており、今後も高齢者の割合は緩やかに増加していくものと推察しております。

①加入状況(令和7年度末現在) (単位:人、%)

年度	世 帯 数 (年 度 末)			町の人口 (年 度 末)	被 保 険 者 数 (年 度 平 均)						一世帯当 被 保 数
	全世帯数	国保加入数	加 入 率		総 数	対前年比	一 般	対前年比	退 職	対前年比	
3	11,234	3,087	27.48	22,666	5,225	97.08	5,225	97.08	0	—	1.6
4	11,244	3,040	27.04	22,402	5,054	96.73	5,054	96.73	0	—	1.6
5	11,174	2,926	26.19	22,094	4,882	96.60	4,882	96.60	0	—	1.6
6	11,203	2,836	25.31	21,951	4,615	94.53	4,615	94.53	0	—	1.6
7	11,153	2,789	25.01	21,669	4,376	94.82	4,376	94.82	0	—	1.5

②年齢構成別状況(令和7年度末現在) (単位:人)

	0歳～19歳	20歳～39歳	40歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳～
国保加入者	473	685	1,115	1,009	1,038	
構成比	10.9%	15.9%	25.8%	23.4%	24.0%	
町の人口	3,273	4,282	6,252	2,860	1,545	3,457
人口比	14.5%	16.0%	17.8%	35.3%	67.2%	



2.財政収支及び財政調整基金の状況

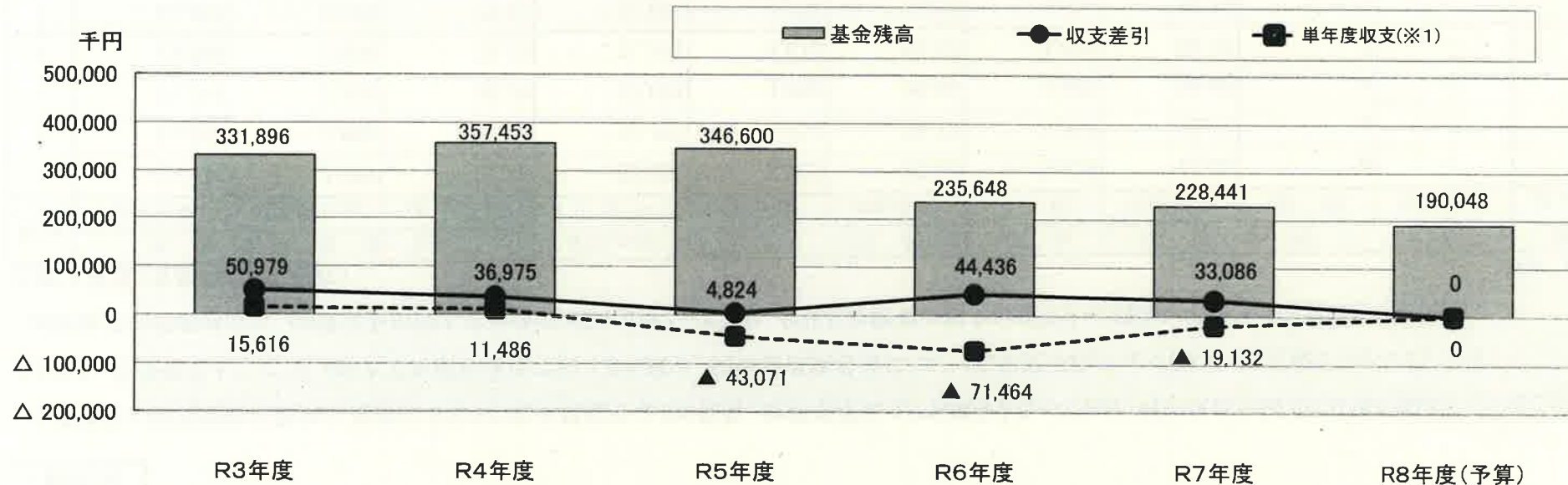
(1)年度別収支状況

(単位:千円)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(予算)
歳 入	2,432,843	2,402,402	2,325,833	2,452,434	2,276,459	2,495,653
歳 出	2,381,864	2,365,427	2,321,009	2,407,998	2,243,373	2,495,653
収 支 差 引	50,979	36,975	4,824	44,436	33,086	0
(基金繰入額)	0	0	29,408	111,076	30,000	55,536
前年度繰越金	35,363	25,489	18,487	4,824	22,218	16,543
単年度収支(※1)	15,616	11,486	▲ 43,071	▲ 71,464	▲ 19,132	—
基金残高	331,896	357,453	346,600	235,648	228,441	190,048
剰 余 金	25,489	18,487	4,824	22,218	16,543	0
基金積立額	25,490	18,488	0	22,218	16,543	—
基金利息	77	67	67	123	575	—

※1 単年度収支……「基金繰入金」・「前年度繰越金」を除いた歳入総額から歳出総額を差し引いた実質収支

基金残高及び収支状況



(2)財政収支の内訳

歳入の国民健康保険税については、被保険者数の減少等により、対前年度比 0.03%減の 622,551千円となりました。

平成30年度からの国保制度改革(都道府県単位化)に伴い、保険給付に要した費用全額が道支出金として収入されており、市町村事業に対する交付金を含めた道支出金の額は、1,403,524千円となりました。

また、繰入金については、対前年度比 27.46%減の 219,016千円となり、一般会計からの法定内、ルール分の繰入 189,016千円のほか、基金からの繰入 30,000千円となっております。

歳出の保険給付費については、国民健康保険加入者の減少に伴い、1人当たりの費用額も減少しており、対前年度比 6.71%減の 1,352,655千円となりました。

なお、保健事業費については、システム改修に係る負担金の増加などにより、対前年度比 10.62%増の 30,068千円となりました。

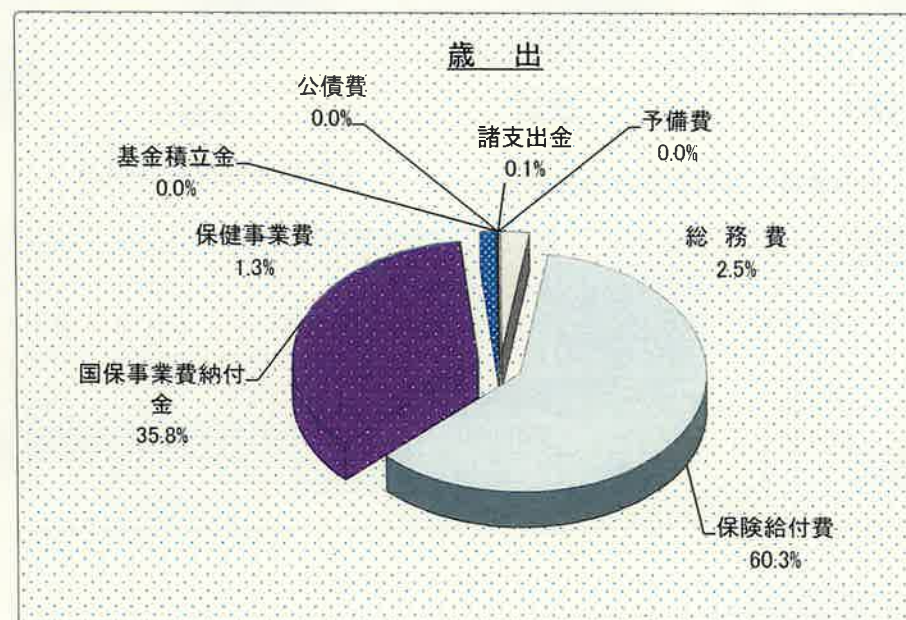
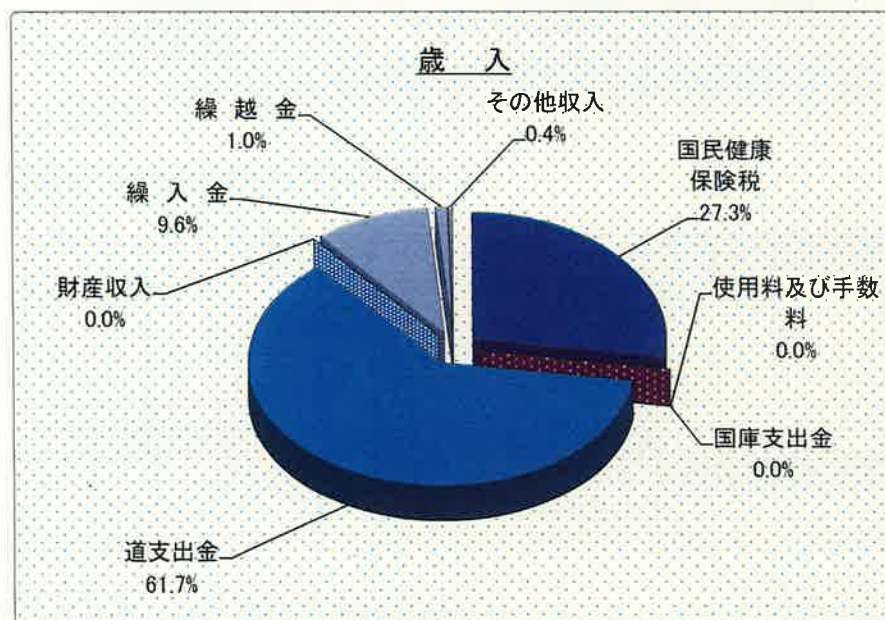
歳 入

(単位:千円)

国民健康保険税	使用料及び手数料	国庫支出金	道支出金	財産収入	繰入金	繰越金	その他収入	合 計
622,551	0	466	1,403,524	575	219,016	22,218	8,109	2,276,459

歳 出

総 務 費	保険給付費	国保事業費納付金	保健事業費	基金積立金	公債費	諸支出金	予備費	合 計
55,481	1,352,655	802,196	30,068	575	193	2,205	0	2,243,373



3.国民健康保険税の賦課・収納状況

は改正箇所

(1) 税率の推移

年度	所得割(%)				均等割(円)					平等割(円)				賦課限度額(円)			
	医療	後期	介護	子ども	医療	後期	介護	子ども	18歳以上	医療	後期	介護	子ども	医療	後期	介護	子ども
3	8.2	2.6	1.9	-	26,400	8,500	8,500	-	-	28,000	9,000	6,600	-	630,000	190,000	170,000	-
4	8.2	2.6	1.9	-	26,400	8,500	8,500	-	-	28,000	9,000	6,600	-	650,000	200,000	170,000	-
5	8.2	2.6	1.9	-	26,400	8,500	8,500	-	-	28,000	9,000	6,600	-	650,000	220,000	170,000	-
6	8.2	2.6	1.9	-	26,400	8,500	8,500	-	-	28,000	9,000	6,600	-	650,000	240,000	170,000	-
7	8.2	2.6	1.9	-	26,400	8,500	8,500	-	-	28,000	9,000	6,600	-	660,000	260,000	170,000	-
8	8.2	2.6	1.9	0.29	26,400	8,500	8,500	1,000	100	28,000	9,000	6,600	1,000	670,000	260,000	170,000	30,000

(2) 保険税の賦課状況(※当初賦課時点)

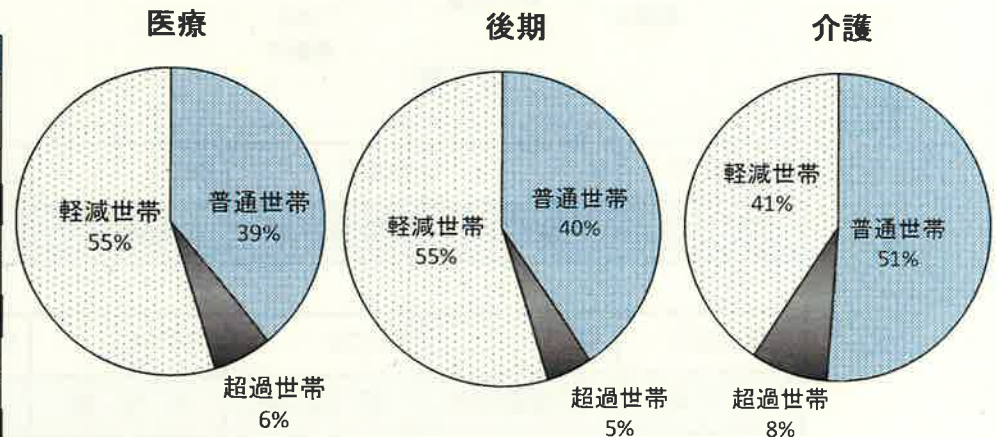
【令和7年度世帯状況】

■ 普通世帯 ■ 超過世帯 □ 軽減世帯

① 課税世帯状況

(単位:世帯)

	年度	総世帯数	普通世帯 (特定世帯含)	超過世帯	軽減世帯			
						2割	5割	7割
医療	6	3,030	1,189	183	1,658	322	414	922
	7	2,936	1,148	182	1,606	306	409	891
	8	2,837	1,178	196	1,463	267	336	860
後期	6	3,030	1,222	150	1,658	322	414	922
	7	2,936	1,193	137	1,606	306	409	891
	8	2,837	1,213	161	1,463	267	336	860
介護	6	1,335	659	106	570	125	155	290
	7	1,271	650	103	518	107	143	268
	8	1,247	638	116	493	103	111	279
子ども	6	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-
	8	2,818	1,199	156	1,463	267	336	860



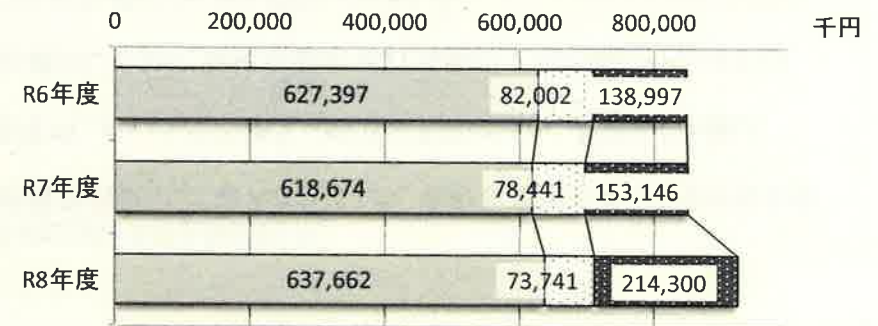
【課税額状況】

□ 当初調定額 □ 軽減額 ■ 限度超過額

② 課税額状況

(単位:千円)

	当初賦課総額	軽減額	限度超過額	端数税額	年税額	月割増減	当初調定額
R6年度	881,185	82,002	138,997	0	660,186	△ 32,789	627,397
R7年度	871,766	78,441	153,146	0	640,179	△ 21,505	618,674
R8年度	951,996	73,741	214,300	0	663,955	△ 26,293	637,662

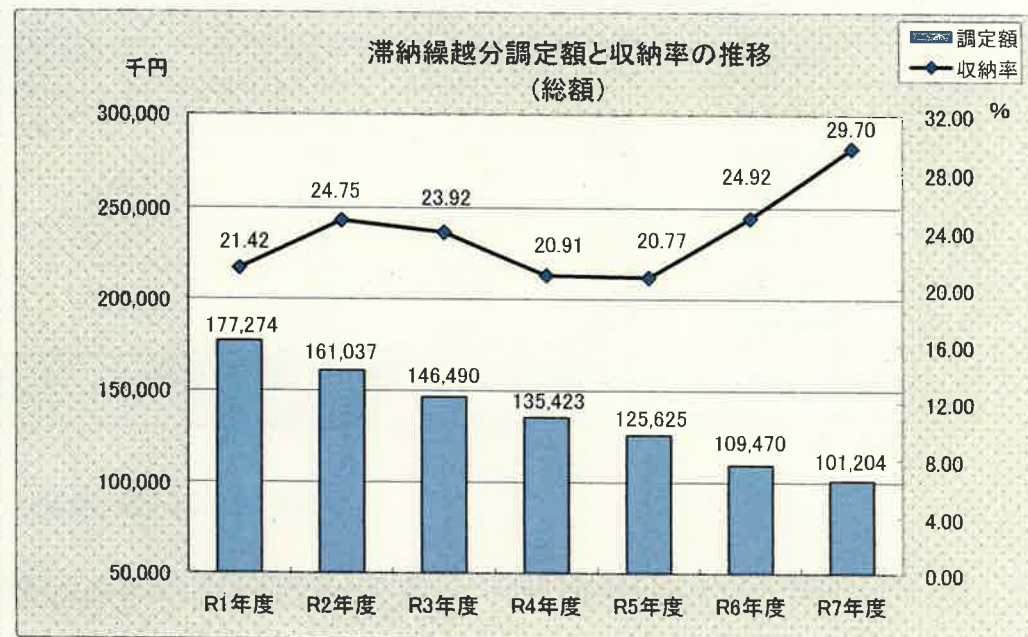
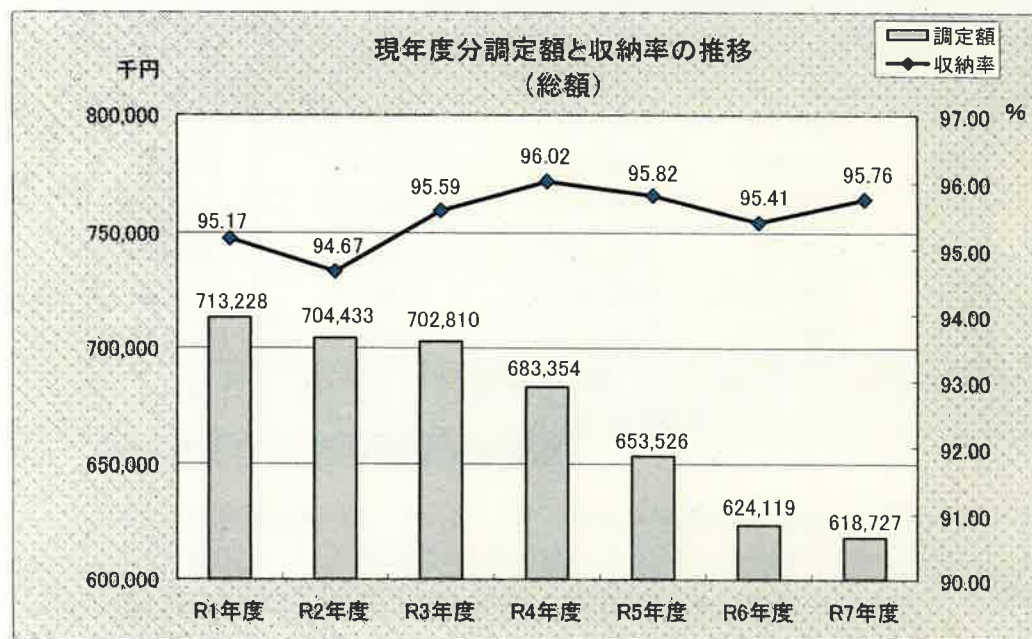


※R6年度以降の軽減額には、産前産後の減額が含まれている。

(3) 保険税調定額と収納額の推移

(単位:千円)

年 度	現 年 度			滞 納 繰 越 分			不 納 欠 損 額	計			収納率 (%)			全道平均 (%)			一世帯、一人当たり調定額 (単位:円)			
	調 定 額	収 納 額	未 収 額	調 定 額	収 納 額	未 収 額		調 定 額	収 納 額	未 収 額	現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計	一世帯当	伸率	一人当	伸率
R1年度	713,228	678,768	34,460	177,274	37,971	139,303	11,005	890,502	716,739	162,758	95.17	21.42	80.49	95.17	23.62	84.98	225,777	99.8	128,510	101.5
R2年度	704,433	666,873	37,560	161,037	39,864	121,173	10,649	865,470	706,737	148,084	94.67	24.75	81.66	95.72	24.98	86.38	227,751	100.9	130,887	101.8
R3年度	702,810	671,822	30,988	146,490	35,038	111,452	5,335	849,300	706,860	137,105	95.59	23.92	83.23	95.96	23.40	87.39	229,977	101.0	134,509	102.8
R4年度	683,354	656,188	27,166	135,423	28,316	107,107	7,701	818,777	684,504	126,572	96.02	20.91	83.60	96.04	24.04	88.15	225,827	98.2	135,211	100.5
R5年度	653,526	626,180	27,346	125,625	26,092	99,533	15,950	779,151	652,272	110,929	95.82	20.77	83.72	95.70	24.35	88.44	218,424	96.7	133,864	99.0
R6年度	624,119	595,481	28,638	109,470	27,280	82,190	9,317	733,589	622,761	101,511	95.41	24.92	84.89	—	—	—	216,934	99.3	135,237	101.0
R7年度	618,727	592,497	26,230	101,204	30,054	71,150	3,717	719,931	622,551	93,663	95.76	29.70	86.47	—	—	—	219,407	101.1	141,391	104.6



4.保険給付費等の状況

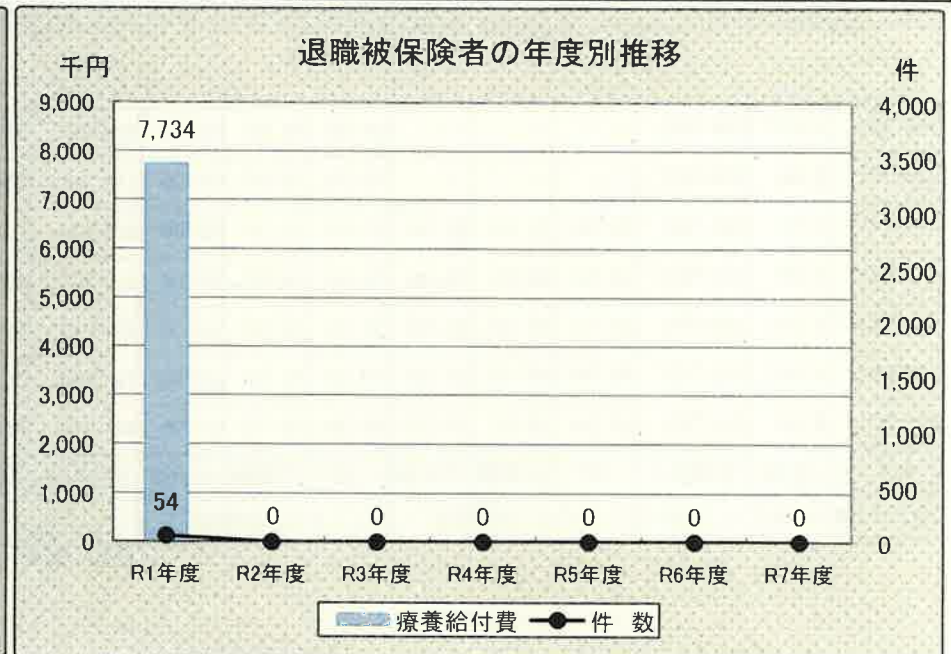
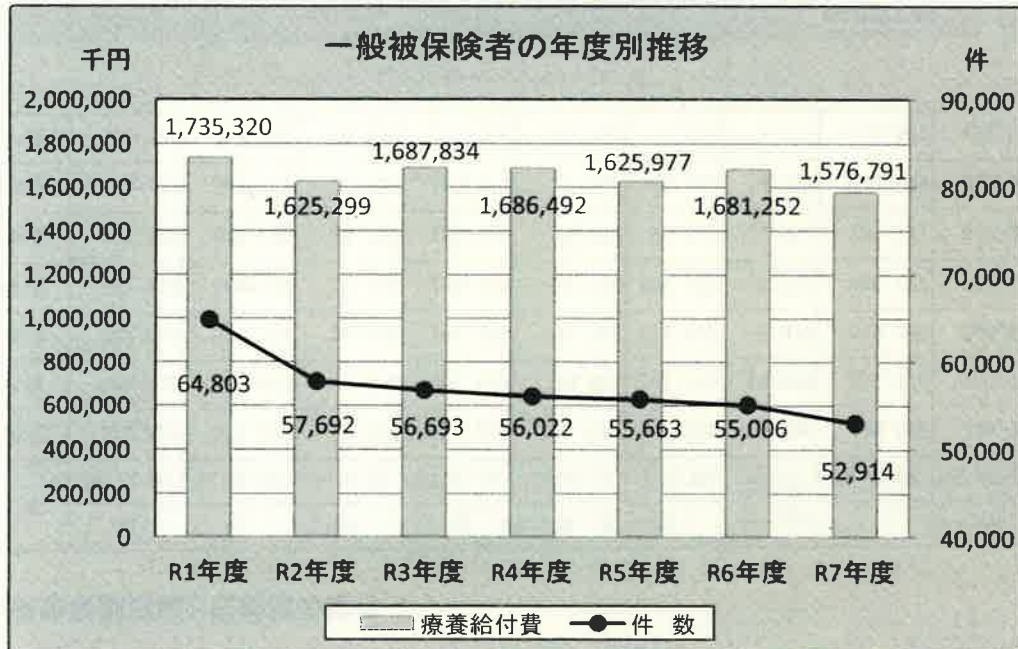
保険給付費等の状況については、一般被保険者の対前年度比件数で3.8%減少、療養給付費では6.2%の減少と、件数、療養給付費ともに減少となっております。要因としては、被保険者数の減少に伴うものと推考しております。

また、退職被保険者につきましては、前年度同様に制度終了により件数0件、療養給付費0円となりました。

(1)療養給付費(診療報酬+療養費)

(単位:件、千円、%)

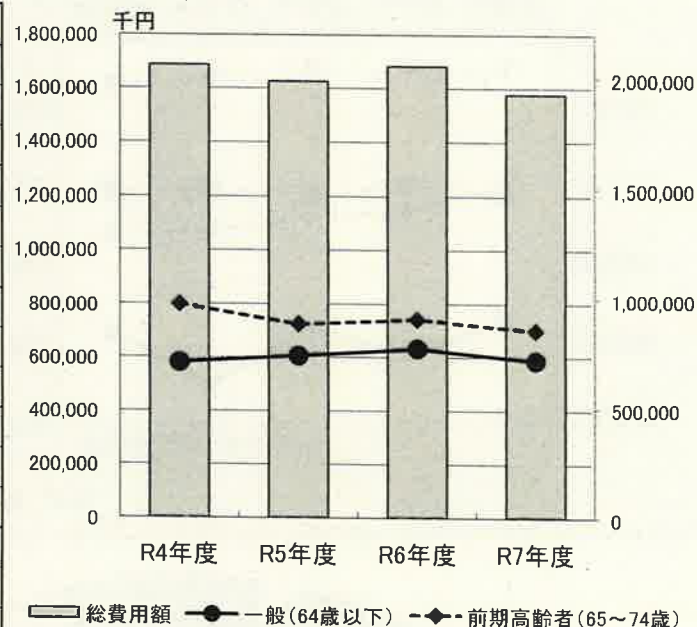
年 度	一般被保険者				退職被保険者				合 計	対前年度比
	件 数	療養給付費	増 減	対前年度比	件 数	療養給付費	増 減	対前年比		
R1年度	64,803	1,735,320	△ 1,462	99.9	54	7,734	986	114.6	1,743,054	100.0
R2年度	57,692	1,625,299	△ 110,021	93.7	0	0	△ 7,734	0.0	1,625,299	93.2
R3年度	56,693	1,687,834	62,535	103.8	0	0	0	0.0	1,687,834	103.8
R4年度	56,022	1,686,492	△ 1,342	99.9	0	0	0	0.0	1,686,492	99.9
R5年度	55,663	1,625,977	△ 60,515	96.4	0	0	0	0.0	1,625,977	96.4
R6年度	55,006	1,681,252	55,275	103.4	0	0	0	0.0	1,681,252	103.4
R7年度	52,914	1,576,791	△ 104,461	93.8	0	0	0	0.0	1,576,791	93.8



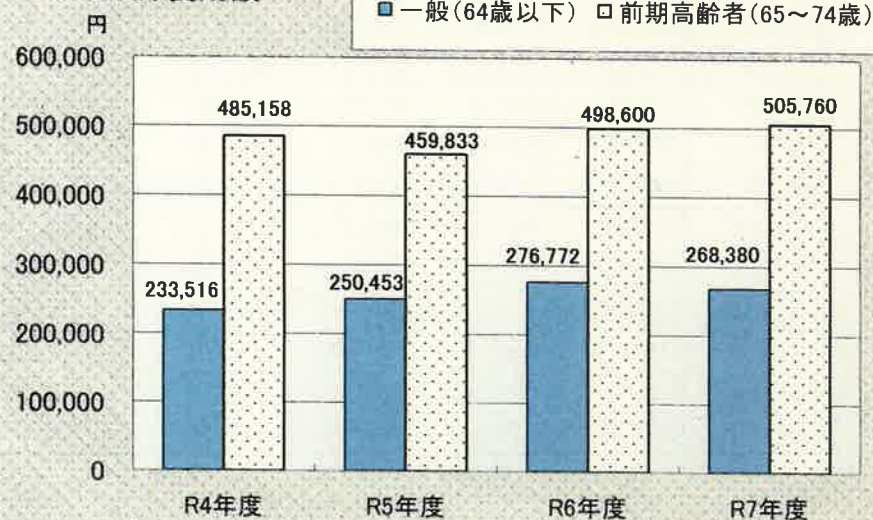
(2) 世代別保険給付費等の状況

	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
平均被保険者数(人)	5,054		4,882		4,615		4,376	
一般(64歳以下)	3,042	60.2%	2,956	60.5%	2,794	60.5%	2,681	61.3%
前期高齢者(65～74歳)	2,012	39.8%	1,926	39.5%	1,821	39.5%	1,695	38.7%
受診総件数(件)	56,022		55,663		55,006		52,914	
一般(64歳以下)	25,737	45.9%	26,756	48.1%	25,924	47.1%	25,430	48.1%
前期高齢者(65～74歳)	30,285	54.1%	28,907	51.9%	29,082	52.9%	27,484	51.9%
費用額(千円)	1,686,492		1,625,977		1,681,252		1,576,791	
一般(64歳以下)	710,355	42.1%	740,339	45.5%	773,302	46.0%	719,527	45.6%
前期高齢者(65～74歳)	976,137	57.9%	885,638	54.5%	907,950	54.0%	857,264	54.4%
1人当たり費用額(円)	333,695		333,056		364,302		360,327	
一般(64歳以下)	233,516		250,453		276,772		268,380	
前期高齢者(65～74歳)	485,158		459,833		498,600		505,760	
1件当たり費用額(円)	30,104		29,211		30,565		29,799	
一般(64歳以下)	27,601		27,670		29,830		28,294	
前期高齢者(65～74歳)	32,232		30,637		31,220		31,191	

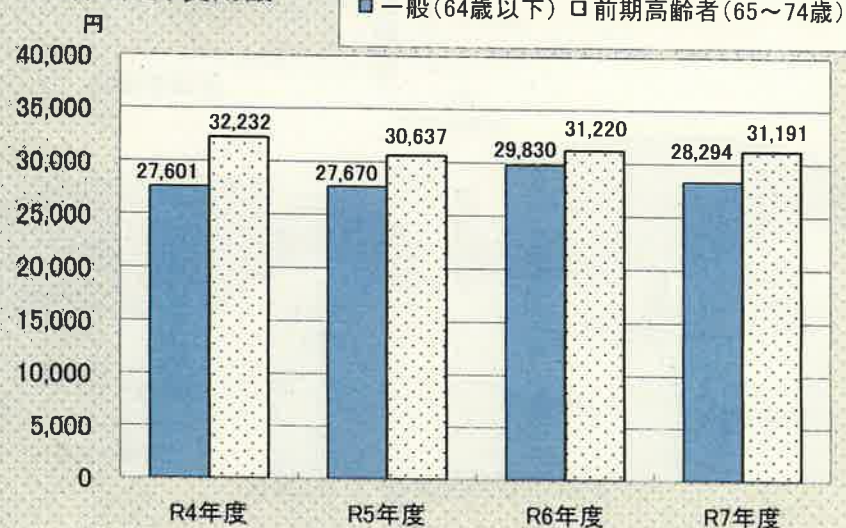
年度別費用額推移



1人当たり費用額



1件当たり費用額

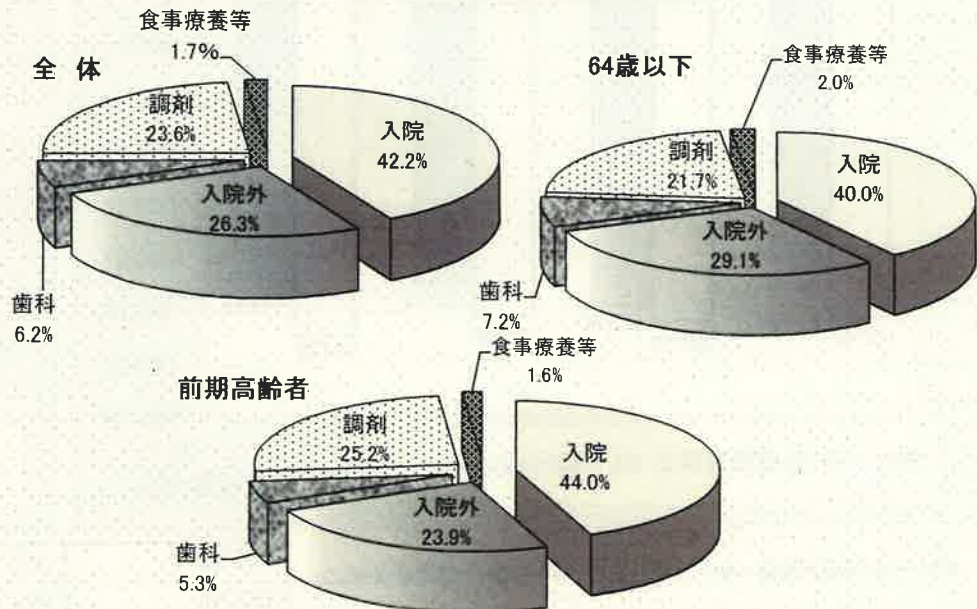


(3) 診療区分別保険給付費等の状況

(単位:千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
入 院	694,822	736,862	687,522	731,472	654,621
64歳以下	315,900	288,313	310,524	316,371	283,078
前期高齢者	378,922	448,549	376,998	415,101	371,543
入院外	478,930	459,926	452,094	452,615	407,900
64歳以下	223,503	207,687	215,003	223,195	205,747
前期高齢者	255,427	252,239	237,091	229,420	202,153
歯 科	120,223	107,548	94,147	92,362	96,467
64歳以下	59,796	53,972	51,264	45,787	51,325
前期高齢者	60,427	53,576	42,883	46,575	45,142
調 剤	347,843	337,211	349,628	358,187	366,024
64歳以下	147,698	137,174	140,641	162,061	153,452
前期高齢者	200,145	200,037	208,987	196,126	212,572
食事療養等	31,327	31,228	28,659	29,339	27,285
64歳以下	15,462	14,348	14,054	13,695	14,097
前期高齢者	15,865	16,880	14,605	15,644	13,188

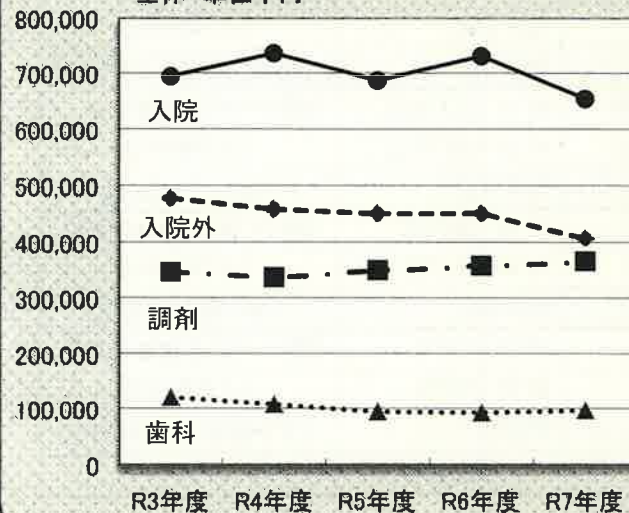
令和7年度 療養給付費の構成



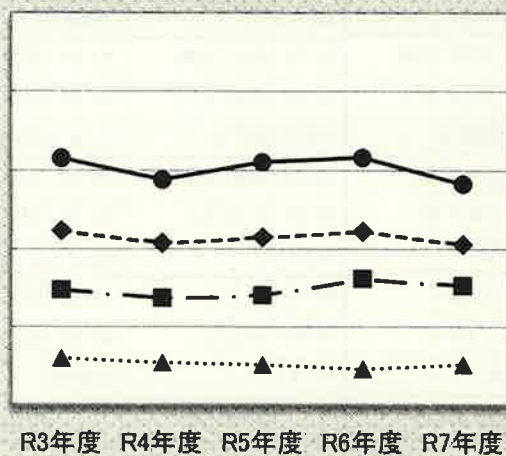
全体 単位千円

診療区分別の推移

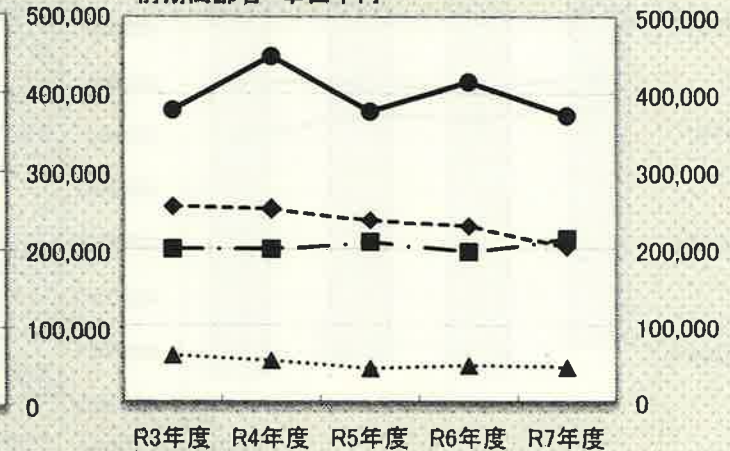
● 入院 ◆ 入院外 ▲ 歯科 ■ 調剤



64歳以下 単位千円



前期高齢者 単位千円



(4)高額療養費の状況

○件数

(単位:件)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
全 体	2,939	3,016	2,910	3,111	3,154
64歳以下	878	723	667	749	710
前期高齢者	2,061	2,293	2,243	2,362	2,444

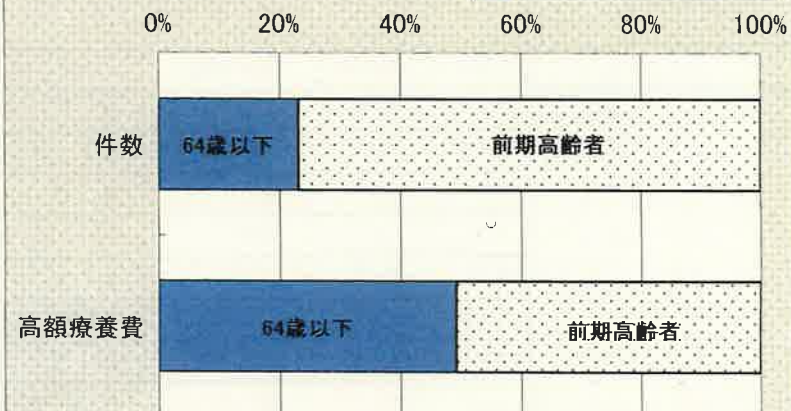
○金額

(単位:千円) (単位:千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
全 体	187,142	183,940	175,163	197,485	188,226
64歳以下	97,389	81,635	86,718	102,055	92,194
前期高齢者	89,753	102,305	88,445	95,430	96,032

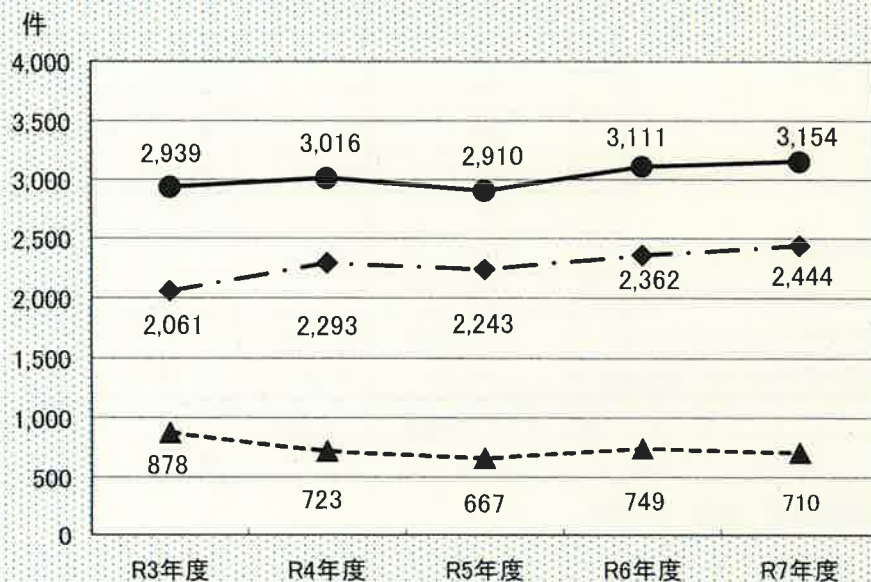
令和7年度 世代別高額療養費構成

■ 64歳以下 □ 前期高齢者



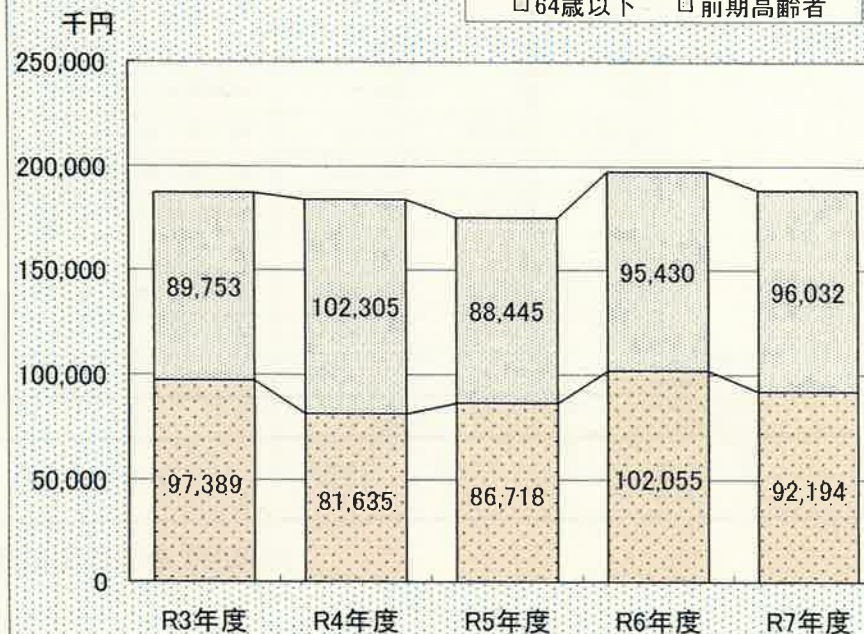
高額療養費件数の状況(世代別)

● 全体件数 ▲ 64歳以下件数 ◆ 前期高齢者件数



高額療養費の状況(世代別)

□ 64歳以下 □ 前期高齢者



令和 7 年度 国民健康保険事業特別会計決算（款項別）

R8.6.1

(単位：千円)

歳 入				説 明
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	比 較 (B) - (A)	
1. 国民健康保険税	582,371	622,551	40,180	収納率：現年 95.76% 滞繰 29.70%
（医療給付費分）	(396,442)	(423,609)	27,167	R06決算：現年 95.41% 滞繰 24.92%
（後期高齢者分）	(132,216)	(141,788)	9,572	R05決算：現年 95.82% 滞繰 20.77%
（介護納付金分）	(53,713)	(57,154)	3,441	R04決算：現年 96.02% 滞繰 20.91%
2. 使用料及び手数料	1	0	△ 1	
3. 国庫支出金	466	466	0	
1. 国庫補助金	466	466	0	
災害臨時特別補助金	341	341	0	
社会保障・税番号制度移行費補助金	125	125	0	
4. 道支出金	1,764,605	1,403,524	△ 361,081	
1. 道負担金	1,764,605	1,403,524	△ 361,081	※特別交付金
保険給付費等交付金（普通）	1,723,174	1,350,347	△ 372,827	保険者努力支援分 10,782
保険給付費等交付金（特別）	41,431	53,177	11,746	特別調整交付金分 6,554
				道2号繰入金分 31,869
				特定健診分 3,972
5. 財産収入	580	575	△ 5	
6. 繰入金	247,932	219,016	△ 28,916	
1. 一般会計繰入金	195,457	189,016	△ 6,441	※一般会計繰入金 78,082
2. 基金繰入金	52,475	30,000	△ 22,475	基金安定（軽減分） 54,433
				基金安定（支援分） 3,659
7. 繰越金	22,217	22,218	1	出産育児一時金 1,392
				未就学児均等割保険税 768
8. 諸収入	2,712	8,109	5,397	職員給与費等分 46,536
				財政安定化支援分 4,146
9. 町債（財政安定化基金貸付金）	0	0	0	
歳入合計	2,620,884	2,276,459	△ 344,425	

差引（歳入－歳出）	0	33,086
-----------	---	--------

R7年度積立額 575千円

基金積立金
 R7年度末残高 228,441千円
 (R6年度末残高) 235,648千円
 (R6決算積立基金) 22,218千円

歳 出				説 明
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	比 較 (B) - (A)	
1. 総務費	57,791	55,481	△ 2,310	※総務費 26,463
2. 保険給付費	1,723,174	1,352,655	△ 370,519	総務管理費 28,902
				徴税費 116
				運営協議会費
1. 療養諸費	1,490,955	1,157,652	△ 333,303	
診療報酬支払金	1,480,402	1,147,751	△ 332,651	
療養費	7,576	6,985	△ 591	
審査支払手数料	2,977	2,916	△ 61	
2. 高額療養費	221,244	188,643	△ 32,601	
高額療養費	221,044	188,613	△ 32,431	
高額介護合算療養費	200	30	△ 170	
3. 移送費	100	0	△ 100	
4. 出産育児諸費	10,005	5,490	△ 4,515	
5. 葬祭諸費	870	870	0	
6. 傷病手当金	0	0	0	
3. 国民健康保険事業費納付金	802,196	802,196	0	
4. 共同事業拠出金	0	0	0	
5. 保健事業費	32,284	30,068	△ 2,216	
1. 特定健康診査等事業費	26,469	25,098	△ 1,371	
2. 保健事業費	5,815	4,970	△ 845	
6. 基金積立金	580	575	△ 5	
7. 公債費	300	193	△ 107	
8. 諸支出金	3,559	2,205	△ 1,354	※諸支出金 1,254
				還付金・加算金 0
9. 予備費	1,000	0	△ 1,000	国庫繰返還金 0
				保給交返還金 951
歳出合計	2,620,884	2,243,373	△ 377,511	

議案第 2 号 保健事業について

空白

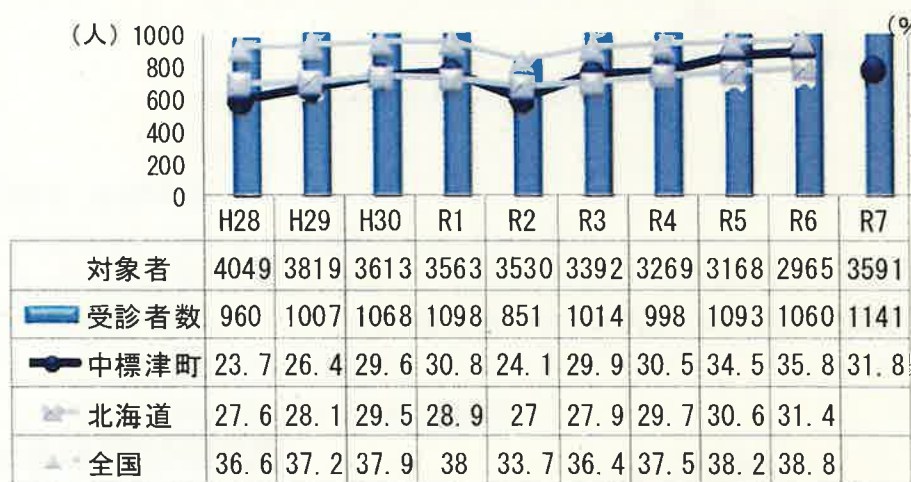
國立中央圖書館藏

1. 令和7年度保健事業実績

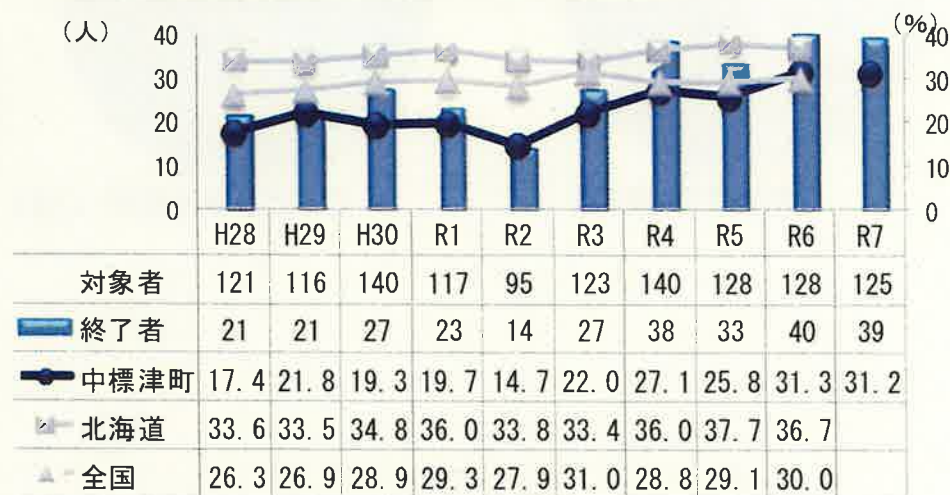
(1) 特定健康診査・特定保健指導

40～74歳を対象に実施。また、18～39歳の国保加入者及び75歳以上の後期高齢者医療制度加入者についても健診を無料で実施。

【図1 特定健診受診数・受診率の推移】



【図2 特定保健指導終了者数・実施率の推移】



※令和6年度までは法定報告値。令和7年度は4月1日時点の対象者による実績値であり、法定報告時には対象者の確定に伴い受診率が変動します。

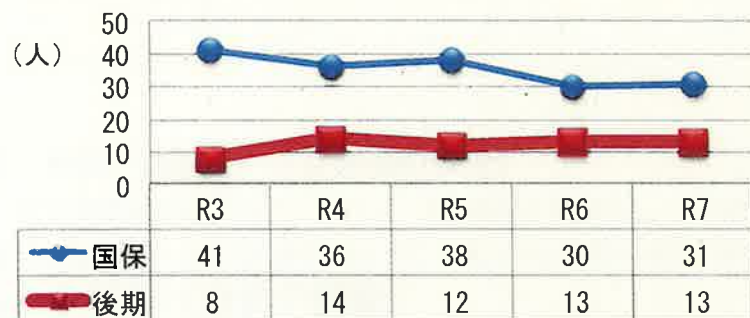
(2) 国保・後期人間ドック

対象：40歳以上の国保加入者（条件：1年以上継続して国保に加入し、国保税の滞納がない世帯）

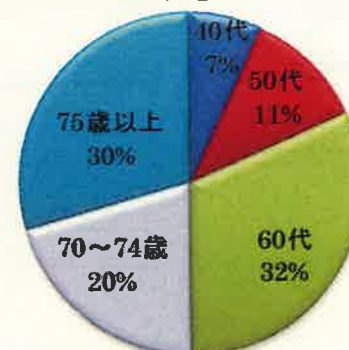
受診数（図3）：国保加入者の受診者は前年度とほぼ同数

年代別内訳（図4）：70歳以上の受診者が約5割を占める

【図3 受診数推移】



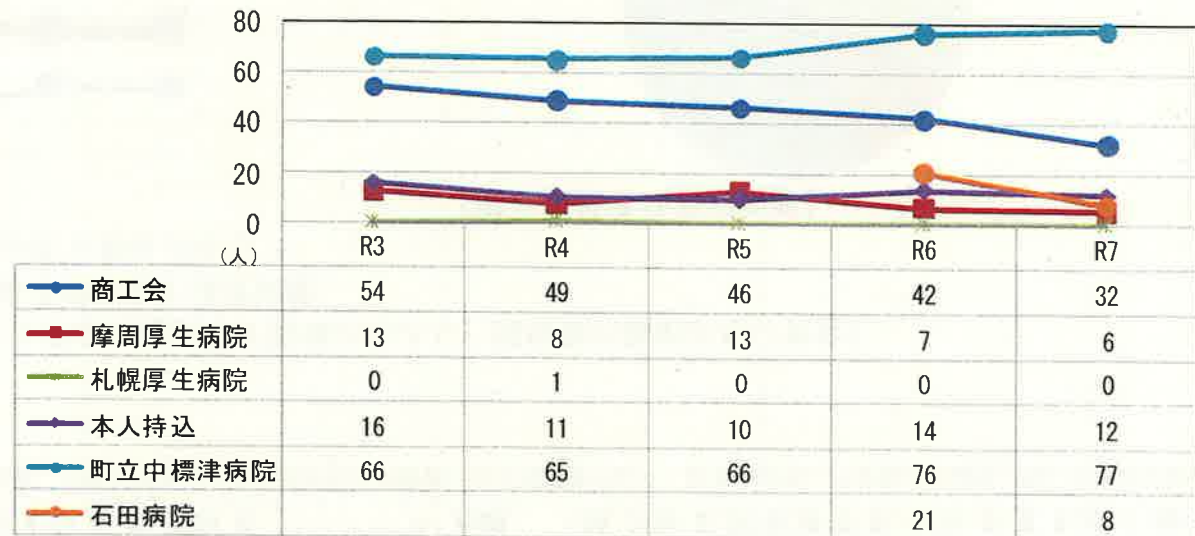
【図4 受診者年代別内訳】



(3) データ受領（みなし健診）

健診や人間ドックの結果について、本人の同意のもと医療機関等からデータ提供を受けるほか、本人からの直接提供や、町立中標津病院・石田病院の通院者について、診療時の検査データ提供を受け、特定健診受診者として計上。

【図5 みなし健診データ受領数の推移】



(4) 骨粗しょう症検診

方 法：個別検診（町立中標津病院）

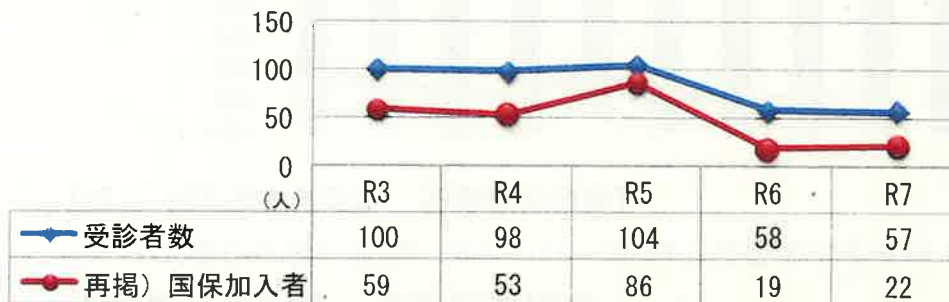
料 金：国保加入者は無料

受診者数（図6）：受診者は前年度とほぼ同数（R6年度以降減少）

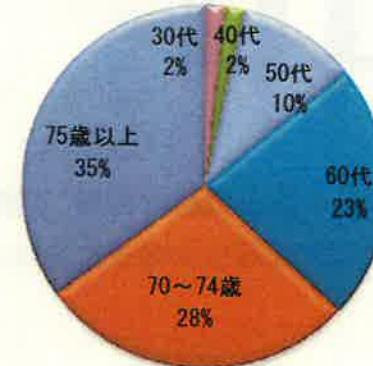
年代内訳（図7）：70歳以上の受診者が約6割を占める

結果状況（図8）：要医療が26%を占める

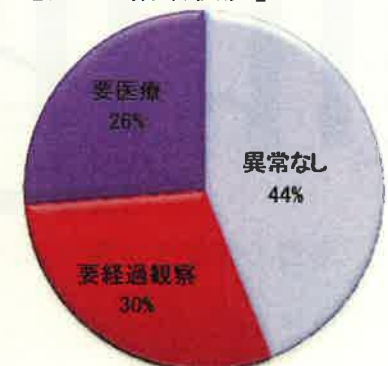
【図6 受診状況】



【図7 受診者年代内訳】



【図8 結果状況】



(5) なかなか健康なかしべつポイント

目 的 : 健康無関心層を含めた健康づくりに取り組む人を増やし、健診受診率の向上及び医療費の適正化を図る。

対 象 : 18歳以上の町民

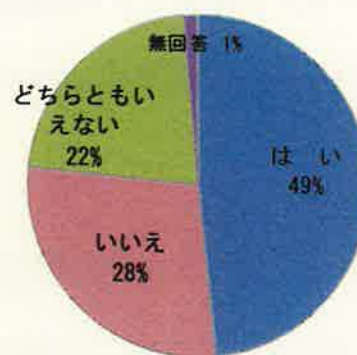
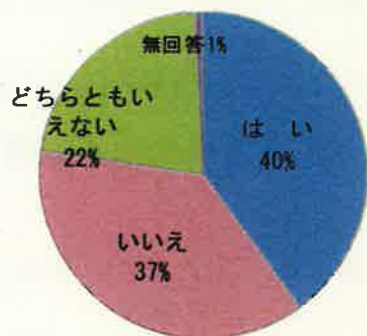
方 法 : 健診の受診や体育施設の利用、自宅での健康づくり等に応じてポイントを付与し、6ポイント貯まると応募可能。応募には健診受診によるポイントを必須とし、応募は期間中1人1回。WEBでの応募も可能。抽選会は令和8年4月に開催。

結 果 : 応募者数 454名 当選者数 192名 当選率 42.3%

【図9 アンケート結果】

① この事業が健診を受けるきっかけとなりましたか？

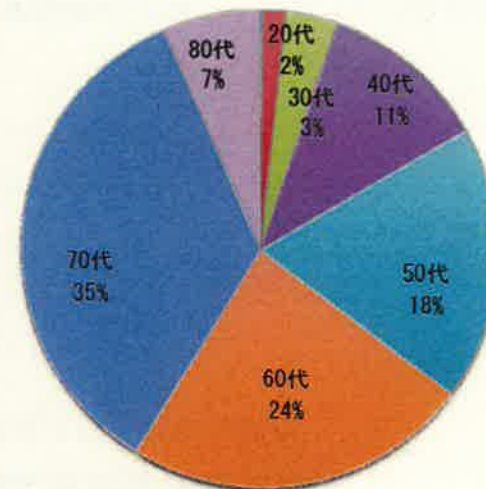
② この事業が運動をするきっかけとなりましたか？



【表1】健康診査・各種検診の受診状況

	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	前年度比較
特定健康診査	851	1,014	998	1,093	1,060	1,141	81
若年健診	62	86	77	67	61	54	▲ 7
後期高齢健康診査	141	211	238	269	307	348	41
胃がん検診	549	666	586	577	519	483	▲ 36
肺がん検診	813	998	1,081	1,106	1,104	1,075	▲ 29
大腸がん検診	814	1,031	1,023	1,100	1,064	1,047	▲ 17
乳がん検診	316	375	413	379	418	373	▲ 45
子宮頸がん検診	222	328	338	346	330	287	▲ 43
骨粗しょう症検診	105	100	98	104	58	57	▲ 1

【図10 応募者年代内訳】



(6) 生活習慣病重症化予防事業（治療中断者及び未治療者対策）～特定健診受診率向上支援等共同事業～

対 象：生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症）の治療中断者及び前年度特定健診で要精密検査となった未受診者

	治療中断者対策	未治療者対策
対象者	23人	122人
勧奨通知送付数	23人	122人
保健指導実施数	6人	40人
勧奨後受診	12人	25人
勧奨後受診率	52.2%	20.5%

方 法：治療中断者～レセプトデータから対象者を抽出。受診勧奨通知後、訪問・電話等による保健指導を実施し、レセプトで受診状況を確認し評価

未 治 療 者～前年度の特定健診受診者の要精密検査未受診者を抽出し、受診勧奨通知を送付。面談や電話等による保健指導を実施し、レセプトで受診状況を確認し評価

結 果：治療中断者では約半数、未治療者では約2割が勧奨後に医療機関を受診した。

(7) 重複多受診者訪問等指導事業

目 的：重複多受診や重複投与等の状況を確認し、適正受診・適正服薬を促すとともに、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。

対 象：レセプトの点検結果等から重複受診・重複投与が認められ、保健師による支援が必要と判断した者

方 法：レセプト確認し、支援の必要性を判断した上で、文書による連絡や保健師が訪問・電話を実施。再度レセプトを確認し、受診・服薬の状況の評価する。

結 果：

抽出対象者	1名
訪問・保健指導実施者	0名

対象者1名についてレセプト及び生活状況を確認。関係職種とも協議した結果、個別の状況を踏まえ、訪問等による介入は行わないこととした。

2. 令和8年度 保健事業の取組について

令和8年度は、前年度の取組を基本として、以下の4つの柱により保健事業を継続して実施します。

① 健診受診機会の確保	・ 集団健診(保健センターバス健診、農協巡回ドック) ・ 個別健診(町立中標津病院、石田病院、なかしべつ内科クリニック、釧路がん検診センター) ・ 人間ドックを継続して実施 ・ 受診しやすい健診体制を維持
② 特定健診受診率の向上	・ AIを活用した対象者特性に応じた受診勧奨を継続(年度内3回の受診勧奨) ・ 電話での受診勧奨を継続 ・ みなし健診によるデータ受領を継続
③ 生活習慣病の重症化予防	・ 治療中断者、要精密検査未受診者への受診勧奨・保健指導 ・ 特定保健指導の実施 ・ 重複多受診・重複投薬等の対象者への個別支援
④ 健康づくりのきっかけづくり	・ 「なかしべつ健康なかしべつポイント」を継続 ・ 健診受診や運動等、健康づくりに取り組むきっかけを提供

【特定健診受診率向上支援等共同事業】

受診勧奨： AIによる効果的なグループ分けと対象者特性に応じたメッセージによる勧奨を継続。

重症化予防： レセプト・健診データから治療中断者及び未治療者を抽出し、受診勧奨・保健指導を実施。

令和8年度の方針

既存事業を継続しながら、健診受診機会の確保、未受診者への働きかけ、医療機関等との連携によるデータ受領や個別支援を組み合わせ、特定健診受診率の向上と生活習慣病の重症化予防に取り組みます。